

お寺からケアの可能性を開く

僧侶のためのグリーフケア連続講座 in 東京

「死に直面した誰もが必要とするサポートにつながる社会の実現」に向けて活動を行ってきたリヴィオンは、この度、東京で僧侶を対象とした連続講座を開講することになりました。これまでリヴィオンは各宗派から呼んでいただき、青年僧、住職、布教師/使の養成まで幅広く研修を行ってきました。石川県では寺院との協働により、ご遺族のための2団体を産み落とす連続講座なども開催いたしました。本講座ではぜひ皆様とお寺の本業にも通じる「死別」を支えるグリーフケアの専門的な学び、そして実践の一歩までをご一緒できればと願っております。名古屋で開講した際には、「法務の現場に生きる」智慧やスキルが身につくと好評を賜りました。みなさまのご参加お待ちしております！



日 程

- 第一講 7月30日（木・友引） グリーフケアの基礎知識
第二講 8月27日（木・友引） 自分自身を知る時間
第三講 9月 8日（火・友引） 共感の「聴く力」を身につける
第四講 10月 8日（金） 仏教×グリーフケア ☆ゲスト講師
第五講 11月 5日（木・友引） お寺で生み出すグリーフケア

特別講 12月に修了プレゼンテーション&都内におけるグリーフケア従事者との交流会を予定

時 間 各回 10時～16時半（受付開始 9時45分）

場 所 都内にて ※お申込いただいた方にご連絡いたします

講 師 尾角 光美（一般社団法人リヴィオン代表理事）
酒井 義一氏（真宗大谷派 存明寺住職） ☆第四講

定 員 20名 （定員になり次第、受付を締め切らせていただきます）

受講料 75,000円（税別） ※原則一括払いですが、分割払いのご相談にも応じます

申込み ①お名前（ふりがな） ②お電話番号 ③FAXまたはメールアドレス ④ご住所
⑤ご所属寺院・お立場、件名に「僧侶のためのグリーフケア連続講座 受講申込」と明記の上、下記宛先までメールまたはFaxでご連絡ください。

一般社団法人 リヴィオン事務局 Mail info@live-on.me Fax 03-6806-7180

こんなみなさんに本講座をおすすめします！

- お寺を死別を経験される方々のために開きたいけれど、具体的にどうしていいかわからないので学びたい
- 「グリーフケア」って耳にするけれど、まだよくわからない
- 日頃ご遺族と接しているけれど、力になれているのか、傷つけたりしていないか不安
- 自分自身と向き合う時間もなかなか持てていないので、これを機に自分自身のことも見つめたい
- 地震などの災害支援や社会問題ともなっている自殺に対して、何ができるか考えたい

ゲスト講師 酒井 義一（さかい ぎいち）

真宗大谷派 存明寺（ぞんみょうじ）住職

ハンセン病訴訟や死刑廃止の問題について真宗大谷派の一員として積極的な発言・活動を展開している。また、寺院の場としては「しんらん交流ひろば・樹心の会」「ぞんみょうじこどもの会」を定期的に開催、現代に生きる親鸞聖人の教えを、多くの人々とともに学ぶために、お寺を開放している。

東日本大震災以降、東北の地に足を幾度となく運び、支援活動を続けてこられた。自坊でも定期的にご遺族が集まることのできるグリーフケアの場を開いている。第四講ではいかにお寺を、死別の支えとして生きた人のために開いていくのかを学ばせてもらう。



講座ファシリテーター 尾角 光美（おかく てるみ）

一般社団法人リヴィオン 代表理事

19歳で母を自殺により亡くす。あしなが育英会で国内外の遺児たちのグリーフケアに携わる。自殺予防や遺族のケアに関して全国の自治体、学校、仏教寺院。各宗派、などから講演、研修の講師として呼ばれること多数。2009年リヴィオンを起ち上げ「死に直面した誰もが必要とするサポートにつながる社会」の実現を目指して活動している。石川県小松市のお寺で「グリーフサポート連続講座」を主催し2団体のお寺に遺族のケアの場を産み落とした。2011年には寺院とNPOの協働を表彰する浄土宗第5回「共生・地域文化大賞」において「共生優秀賞」受賞。

(一社)お寺の未来と共に「お寺の女塾」「1dayグリーフケア教室」を開催。著書に『なくしたものとつながる生き方』



本講座を全回修了された方にはリヴィオンより「修了証」を授与します。また、東京におられるご遺族や、グリーフケアの活動をされている方々との交流会を、受講生の修了プレゼンテーションの発表会と合わせて開催を予定しております。※日程は受講生の間で調整いたします。